

# 事業所保存・閲覧用

(評価者の個人名は非公表とされており、保護者様・来訪者様等の閲覧用には、こちらの副本をご使用くださいますようお願いいたします)

## 東京都福祉サービス第三者評価(2022年度) 評価結果報告書

2023年3月1日

社会福祉法人森友会  
やさしい森保育園

御中

〒 160-0023

所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1  
セントラルパークタワー ラ・トゥール新宿707

評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構

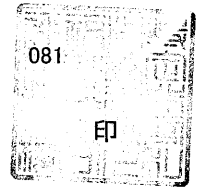
認証評価機関番号

機構 03 -

081

電話番号 03-6279-0331

代表者氏名 理事長 中込 重秋



以下のとおり評価を行いましたので、東京都福祉サービス評価推進機構に報告いたします。

評価者 (評価者養成講習修了者番号及び担当分野)	修了者番号		担当分野	
	①	H0702006	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	②	H1302026	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	③	H0702077	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	④	H0902065	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	⑤		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	⑥		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	やさしい森保育園			
事業所連絡先	〒	187-0011		
	所在地	東京都小平市鈴木町1丁目463-1		
	TEL	042-312-0894		
事業所代表者氏名	小松 真美			
契約日	2022年 8月 1日			
利用者調査票配布日(実施日)	2022年 10月 7日			
利用者調査結果報告日	2022年 12月 1日			
自己評価の調査票配布日	2022年 9月 7日			
自己評価結果報告日	2022年 12月 1日			
訪問調査日	2022年 12月 9日			
評価合議日	2022年 12月 9日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	・利用者調査は共通評価項目及び事業所と協議のうえ設けた独自質問により、インターネットでのウェブアンケート形態で実施した。また調査開始時に書面の配付やポスター掲示などで保護者の理解促進を図るほか、開始後には提出御礼と未提出者への呼びかけを兼ねたチラシの配付、提出期限の延長など、回答率向上にも努めた。 ・事業所に対しては開始時の説明や独自資料の提供等により、第三者評価制度や評価項目・標準項目への理解を深めてもらうほか、職員層も標準項目単位で評価を行えるようにするなど、自己評価がよりの確なものとなるよう配慮した。			

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p>
	<p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての子どもの最善の利益のために</li> <li>・「心身の調和的発達」を促す保育</li> <li>・「基本的な生活習慣」の育成を進める保育</li> <li>・「集団への参加と自主協調の態度」を養う保育</li> <li>・「子どもらしい表現によって、生きる力の基礎」を培う保育</li> </ul>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p>
	<p>(1) 職員に求めている人材像や役割</p> <p>未来ある子どもたちへ「誉める保育」を実践し、ともに成長していける 「笑顔」「誉める」「思いやり」を大切にでき、それを実践できる チームでの情報共有・連携が取れ、協調性がある</p>
	<p>(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>どんな時でも保育するプロとして、「笑顔」「共感」「誉める」を意識する 子どもの育つ力を信じ、応援できる保育者としての心のゆとり 子どもの発見や成長を共に喜ぶ</p>

調査対象

調査開始時点での当園の利用世帯59(在籍児童数70)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は共通評価項目に準拠した。ウェブアンケート形態により実施し、回収は保護者から評価機関への直接電送(外国語世帯のみ調査票の直接郵送)にて行った。結果は選択式・自由記述とも園に報告し、自由意見には回答者の匿名性に配慮した処理を適宜行った。

利用者総数	70
利用者家族総数(世帯)	59
共通評価項目による調査対象者数	59
共通評価項目による調査の有効回答者数	44
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	74.6

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度は「大変満足」40.9%・「満足」50.0%の計90.9%と高い値を得ており、設問別では「発達に配慮した保育活動」「子どもの興味・関心の伸長」「急な残業等への配慮」「子どもの気持ちの尊重」など全17問中14問で80~90%台の高い支持を得ている。一方、「外部相談窓口の周知」では50%を下回っている。  
自由意見では「同年代だけでなく、幅広い友達との関わりを楽しんでいるようで親としてはうれしく、活動や制作も家ではなかなかできないことを幅広くやってくれているので助かっている」「アプリで活動や誕生会の配信があり、どのような日を過ごしたのかわかり、欠席等の連絡もアプリでできる。どの先生も子どもの名前を覚えており、持ちものは他の園より比較的少なく、写真をネット購入できる」「誰かにやらされるのではなく、興味のあるものを自分から進んで活動したり、年下の子等を気遣うことが自然にできるようになった」「園児の自由性を尊重してくれ、保護者の要望にきちんと応えてくれる」などの声が寄せられている。  
さらなる向上を望む意見としては、子どもの心情などに配慮した接し方、子どもの様子の報告・説明・発信に関する事などが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	42	2	0	0
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、「はい」が95.5%、「どちらともいえない」が4.5%となっている。 自由意見は14件で、「家庭保育ではできない遊びにふれることができ、園の友達と集団活動をともに行うことで社会性を身につけ、日々いろいろな刺激をもらいながら成長できていると感じる」「集団生活により、思いやりの心や自ら片づけたり準備をしたり等、自発的な行動ができるようになっていく」「子どものやりたいことを尊重しているいろいろな遊びを提供してくれ、とてもありがたい」などの声が寄せられている。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	43	1	0	0
「はい」が97.7%、「どちらともいえない」が2.3%となっており、「はい」の値は前回(2019年度・以下同、84.8%)から改善傾向が見られる。 自由意見は12件で、「保育園に行くのが楽しいようで、よく家でもいろいろなことを話してくれる」「保育園のおかげで引っ込み思案がなおってきており、何かできるたび、自信になっている様子だ」「子どもたちを飽きさせないよう定期的な教具の変更や、たくさんの楽しそうな活動など、興味関心を持って行える内容になっていると思う」などの声が寄せられている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	37	6	1	0
「はい」が84.1%、「どちらともいえない」が13.6%、「いいえ」が2.3%となっている。 自由意見は13件で、「自宅ではあまり野菜を食べたがらないが、園ではよく食べているので助かっている」「おいしいと言っており、魚などバランスのよい食事になっている」「園での食事・おやつは大好きで、家でも作るとよく言われる」「毎日玄関に給食が展示され、子どもが説明してくれたり、親も確認できたりしてよい」「手づくりのやさしい素材・味で安心して食べられる」などのほか、メニューなどについて、さらなる工夫を望む声が見られる。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	33	9	2	0
<p>「はい」が75.0%、「どちらともいえない」が20.5%、「いいえ」が4.5%となっている。  自由意見は14件で、「芋掘りなど、家庭では経験させてあげられない経験をたくさんしている」「さつまいもの苗を植えたり掘ったり、ブルーベリー狩りをしたり、季節ごとにいろいろな体験ができてありがたい」「季節も感じられたりしているようで、毎日楽しそうだ」「園庭や散歩、農園の体験など、身体を動かす活動をしている」などのほか、戸外活動等のさらなる充実を望む声や、コロナ禍の影響に言及する声などが見られた。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	34	0	1	9
<p>「はい」が97.1%、「いいえ」が2.9%となっており、「はい」の値は前回(81.6%)から改善されている。  自由意見は6件で、「電話で快く応じてくれるので、本当に感謝しかない」「急な延長も対応してくれる」「急な延長も対応してくれる」「急遽間に合わない時も柔軟に対応してくれ、とても助かる」「子どもが不安にならないようにケアをしてくれていると思う」「利用時間を急に変更したことはないためわからないが、今後もしものことがあった場合は、柔軟に対応してもらえと思う」「利用したことがまだない」との声が寄せられている。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	30	13	1	0
<p>「はい」が68.2%、「どちらともいえない」が29.5%、「いいえ」が2.3%となっている。  自由意見は8件で、「いろいろと工夫され、安全対策は十分取られていると思う」「定期的な入口のパスワード変更があり、教室や階段にゲートが取り付けられている」「コロナ流行時には細かく連絡があり、普段も欠席の人数や学年・内容がアプリでわかり、どのような体調不良が多いのか把握が容易だ」「たまにケガをするが、大部分は許容範囲内だ」のほか、保育中の安全管理や外部侵入対策、感染症対策等について、気になる点や要望が挙げられている。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	40	4	0	0
<p>「はい」が90.9%、「どちらともいえない」が9.1%となっており、「はい」の値は前回(70.2%)から改善されている。  自由意見は9件で、「基本、土日に日程を組んでくれており助かっている」「基本的に行事は土曜日の実施で、面談で平日のみの実施の場合はだいぶ前から希望を聞いてくれた上で調整してくれ、非常に配慮してくれていると感じる」「年度初めに1年の行事カレンダーが配付され、事前に予定が立てやすい」などのほか、行事の日程等における各家庭の負担や就労等への配慮について、さらなる検討を望む声が寄せられている。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	36	6	2	0
<p>「はい」が81.8%、「どちらともいえない」が13.6%、「いいえ」が4.5%となっており、「はい」の値は前回(66.0%)から改善されている。  自由意見は8件で、「迎えの際にその日の様子を毎回教えてくれたり、面談を設けて詳しく話してもらえたりしているため、先生方と相談しやすい状況になっていると思う」「必要に応じて面談もしてくれるので助かっている」「親身に聞いてもらえている」などのほか、日頃の子どもの様子などの伝達・報告、コミュニケーション機会の確保などについて、さらなる工夫を望む声が寄せられている。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	42	2	0	0
<p>「はい」が95.5%、「どちらともいえない」が4.5%となっており、「はい」の値は前回(85.1%)から改善傾向が見られる。  自由意見は4件で、「清潔で整理された空間になっていると思い、部屋や廊下に毎回きれいな花も飾ってくれているので、行き届いていると感じる」「いつもきれいにされている」「いつもきれいだと感じている」のほか、各室内の清掃などについて、さらなる配慮を望む声があった。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	37	6	1	0
<p>「はい」が84.1%、「どちらともいえない」が13.6%、「いいえ」が2.3%となっており、「はい」の値は前回(61.7%)から改善されている。  自由意見は8件で、「皆保育園の先生らしく優しく丁寧に対応してくれていると思う」「とても丁寧だと思う」「特に問題があると感じたことがない」「言葉遣いや服装はとても好感が持てる」のほか、職員の身だしなみや保護者・子どもへの声かけについて、さらなる検討を望む声が寄せられている。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	41	2	0	1
「はい」が95.3%、「どちらともいえない」が4.7%となっており、「はい」の値は前回(80.0%)から改善されている。 自由意見は10件で、「登園後熱が出た場合など、すぐ体調の変化に気づき連絡をもらえるため信頼している」「体調が悪くなるとすぐに連絡をくれるし、ケガをした時も退園時にきちんと伝えて、翌日も気にかけてくれるのでありがたい」「少しのケガでもきちんと報告し、対応してくれる」「連絡後に病院に連れて行ってってくれるなど、丁寧に対応してもらえた」「先生による」などの声が寄せられている。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	30	6	0	8
「はい」が83.3%、「どちらともいえない」が16.7%となっており、「はい」の値は前回(57.9%)から改善されている。 自由意見は7件で、「子どもの言うことだけではわからないことをきちんと説明してくれる」「細かく伝えてくれている」「先生によるが、普段から子どもの様子をよく見てくれる先生は信頼している」「園内の様子はあまり見えてこないのどちらともいえない」など声が寄せられている。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	42	2	0	0
「はい」が95.5%、「どちらともいえない」が4.5%となっており、「はい」の値は前回(76.1%)から改善されている。 自由意見は5件で、「子どもの気持ちに寄り添い、様子を見ながら対応してくれていると思う」「大切にしてくれていると感じている」「よく見てくれている」「子どもは先生が大好きだ」のほか、保育者の子ども一人ひとりへの関わりなどについて、さらなる配慮を望む声があった。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	36	5	0	3
「はい」が87.8%、「どちらともいえない」が12.2%となっている。 自由意見には、プライバシー保護等へのさらなる配慮を望む声があった。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	36	5	3	0
「はい」が81.8%、「どちらともいえない」が11.4%、「いいえ」が6.8%となっており、「はい」の値は前回(63.8%)から改善されている。 自由意見は4件で、「毎日様子を教えてくれるので安心する」「入園時の説明もわかりやすく、入園後も大事な連絡は掲示板や手紙でもらえるためわかりやすいと思う」のほか、子どもの成長・発達や日頃の生活、保育内容等に関する保護者への報告・伝達などについて、さらなる配慮を望む声がある。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	36	2	2	4
「はい」が90.0%、「どちらともいえない」が5.0%、「いいえ」が5.0%となっており、「はい」の値は前回(64.1%)から改善されている。 自由意見は6件で、「こちらの気持ちを汲んでしっかりと対応してくれて嬉しかった」「いつも親身に話を聞いてくれたり、アドバイスをくれたり、とてもありがたい」「ものを失くした時に伝えたら迅速に対応してくれた」「あまりないが対応してもらえると思う」「今のところ不満や要望等がなく、わからない」のほか、保護者の不満・要望等に対する傾聴姿勢や対応などに関する声があった。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	15	13	4	12
「はい」が46.9%、「どちらともいえない」が40.6%、「いいえ」が12.5%となっており、「はい」の値は前回(35.7%)から改善傾向が見られる。 自由意見は3件で、「困ったことがないので、職員以外に相談しようと思う機会がない」のほか、外部の意見窓口の周知などに関する声があった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目		
1	カテゴリー1		
	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		評点(〇〇〇)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当	
カテゴリー1の講評			
<p>法人共通で目指す保育の理念・方針を、さまざまな機会に職員や保護者に伝えている</p> <p>「すべての子どもの最善の利益のために」を法人共通の保育理念とし、子どもの心身の調和的発達や基本的な生活習慣の育成、集団への参加と自主協調の態度の育みなど、目指す保育のあり方を示す5つの保育目標を定めている。保護者には見学・入園時の説明や園便りの配信などを通じて、具体的な保育の取組やその内容なども交えて伝えており、行事での子どもの姿を見てもうでも理解が深まるようにしている。職員には入職時の研修やその後の法人内及び園内における研修を重ね、会議での確認や報告などでも共有を図り、理念・方針の浸透に努めている。</p> <p>目指す保育の実践に向け、職員の意欲や挑戦を後押しするマネジメントを大切にしている</p> <p>園長・主任及び各リーダーが、経営層として園の大きな方向性や意思決定を担うとともに、組織のあり方や園が目指すことを職員会議やリーダー会議などで折々に伝えている。今年度は子どものやりたいを育てることを保育の全体目標としており、それをするためにはまず大人が楽しんで取り組み、それを子どもたちに伝えることを大切にしている。法人・園の理念・方針がぶれないようにしつつ、職員がやってみたくと思った内容を受容し、それを後押しすることをマネジメントの軸とし、子どもの気持ちへの共感や見守りなど、目指す保育の実践に努めている。</p> <p>重要な案件の検討・決定の手順を整え、関係者への周知を図っている</p> <p>園の運営や保育・行事などに関する各種の重要案件については、園長・主任・リーダーで大きな方向性を検討するほか、リーダー会議や毎週の各フロアの会議、常勤職員による毎月の職員会議で、内容や緊急性に応じて検討・決定がなされている。各会議の欠席者には記録の確認や出席者からの伝達で決定事項等が伝えられている。また非常勤職員は勤務形態と時間帯が異なるため、フロア職員と主任が参加したパート会議を月2回設け、より細やかな情報共有に努めている。保護者には書面の掲示・配付やアプリ配信により、各種決定・変更等を伝えている。</p>			

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
<b>評価項目1</b> 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p><b>保護者の意見や職員の意向などを把握し、園運営や行事などの検討に活かしている</b></p> <p>保護者の意向は毎日の送迎時の会話や連絡帳の交換、意見箱の設置などを通じて把握するほか、個別の面談の際に園長もしくは主任が参加し、より詳細な情報を把握できるようにしている。行事ではアプリを活用し、開催前に参加人数等を把握するほか、開催後のアンケートで感想等を募り、内容を確認したうえで検討事項等にマーカーを示し、次年度への課題抽出と引き継ぎを行っている。職員の意向は各会議や園長との面談などでさまざまな把握しており、保護者の声などとともに関の運営や直近の保育・行事などの見直し・検討などの参考としている。</p> <p><b>地域内の状況や保育業界の動向の把握と、園の収支状況の管理をしている</b></p> <p>見学者との会話から、地域の子育て家庭の身近な悩みや園に求めることなどを把握するほか、市の私立園長会や地域別の要保護児童対策地域協議会、保育所・幼稚園・小学校の連携会議などの各ネットワーク会議から、子育てや保育・教育に関連する情報を収集している。またこれらの各会議や、行政及び関連団体からの発信物、法人内の園長会などから保育の制度・政策や業界の動向などを把握している。園の予算の策定や収支・定員充足の管理などは園長が行い、月次の収支状況を法人内の園長会で系列他園と共有する仕組みとなっている。</p> <p><b>今後の重要課題の解決や目標達成に向けた各計画の作成と実行を行っている</b></p> <p>法人において、事業環境の動向・見通しや法人共通の諸課題を踏まえ、保育の質の向上や管理職者の育成、広報活動の強化など、今後の最重点課題・取組・目標水準などを示す「中長期・短期事業計画」が策定されている。これを踏まえ、園の年度の事業計画では、保育の質の向上や人材の確保・育成、地域・保護者支援、施設整備などの方針・取組を列挙するほか、園固有の課題や委員会活動の充実などを挙げている。その他、保育や行事などの実務に関する年間・短期の各計画に、具体的な取組内容や目標・ねらい等を設定し、実行や進捗確認などを行っている。</p>		



カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当

サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
カテゴリー3の講評		
社会人・保育者としての倫理・規範などの研鑽と振り返りの機会を設けている 採用後の法人による初任者教育で、社会福祉法人の職員としての心得や社会人に求められる各種基本心得、守秘義務の厳守などが啓発がなされている。法人共通の項目による自己評価を常勤者が年2回行い、これらに関する日常の実践を振り返っている。また「子どもの関わりチェックシート」をもとに定期的に各自での振り返りを行うとともに、集計結果と園長からのコメントを付記したものを職員と共有し、子どもへの丁寧な関わりを促している。さらに虐待の報道を踏まえ、内容の周知を図るとともに、子どもへの不適切な保育の禁止などの再確認を行っている。		
苦情解決や虐待防止など、利用者の権利擁護の仕組みを整えている 苦情解決制度を整備し、園内での掲示や入園時の説明により保護者に周知を図り、日々の会話や連絡帳のやり取り、個別の面談などから要望・苦情等を把握している。また意見箱と専用の用紙を設置し、直接以外での意見を受け付けるほか、要望等が寄せられた際に適切な対応と解決に努めている。前述の取組に加え、「やさしい森保育園がめざす教育・保育」の配付と確認によって、適切な保育の援助の在り方を確認している。また日頃から虐待の早期発見に努めるとともに、疑いが生じた際の園長への報告や関係機関への通告などの仕組みを整えている。		
ボランティア等の受け入れ態勢を整え、地域との連携や各種の情報発信を行っている 法人のホームページや小平市の各種媒体での園の情報の発信、市の保育所団体が制作する冊子での広報などを行っている。ボランティア等の受け入れ態勢を整備しており、保育の実習生の受け入れを行うほか、学校の授業の一環で行う小学生の職場訪問も受け入れている。また市の私立園長会や要保護児童対策地域協議会、保幼小の連携会議などに参画し、情報共有や協同的な活動を行っている。地域の子育て支援については、見学者への育児相談に関する対応程度にとどまっているが、コロナ収束後には地域向けの取組の再開や充実をしたいと考えている。		

カテゴリ-4		
4 リスクマネジメント		
サブカテゴリ-1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>5/5</b>
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>4/4</b>
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>各種リスクへの対策を講じ、さまざまな訓練に取り組んでいる</p> <p>新型コロナウイルスをはじめとする感染症、災害・不審者やアレルギー・SIDS等の事故など、重要と位置づける各種リスクへの対策に取り組んでいる。毎月の避難訓練では通常の時間に加え、早朝や夕方などでの災害発生時の対応を確認するほか、保護者との引き取り訓練や、警察と連携した防犯訓練もを行っている。防犯カメラやAEDを設置するとともに、看護師による救急救命の指導・訓練に取り組んでいる。その他、災害・感染症の発生を想定した各BCP(事業継続計画)を整備しており、研修・訓練等を通じた組織内の周知が今後の課題と思われる。</p> <p>ケガ・事故等の防止と再発防止や、保育中の安全管理の徹底に努めている</p> <p>安全・衛生などの各委員会の活動が行われ、毎月の職員会議で現場への諸注意と必要な情報が周知される仕組みとなっている。ケガやヒヤリハットの発生時には担当者が詳細や原因・対策を確認のうえ、所定の様式への記録と直後の会議での報告を行っている。また毎月、クラスごとで各所や活動内容の分類別にケガ等の集計をし、「コミュニケーションノート」にて共有するほか、法人内の系列園の事例の共有によって、職員の意識啓発を促している。昨今の事故事例を踏まえた園外活動時の人数確認の徹底や、季節に応じた熱中症の注意喚起なども行っている。</p> <p>個人情報の取り扱いや漏洩防止の措置を講じ、職員・保護者への説明等を行っている</p> <p>今年度改訂の法人共通の「個人情報管理マニュアル」に、個人情報の利用目的や開示・訂正等の請求への対応方針、各種情報の取り扱いや漏洩・滅失の具体例などが示されており、別に関連の各種規程が整備されている。各種書類は事務室の書庫で適宜、施錠管理を行っており、各種電子端末類には各人固有のID・パスワードによるログインやデータアクセスの権限を設けるなど、情報漏洩の防止に努めている。職員・実習生等には個人情報の取り扱いや保護に関する説明と同意確認を行っている。また保護者には入園時に書面で情報の利用目的等を説明している。</p>		

カテゴリー5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
		8/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		
評点(○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		
評点(●●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		
評点(○○●●)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)	
組織力の向上に取り組んでいる	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>3/3</b>
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる	評点(〇〇〇)
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
カテゴリ-5の講評	
<p>多様な方法を用いながら人材の確保を行い、適材適所の配置に努めている</p> <p>系列各園の人材確保については、法人内の広報・採用委員会が中心に行いながら、各園が協力して取り組んでいる。法人サイトや各種SNSでの情報発信のほか、各種養成・採用機関との連携や各種イベント出展など、多様な媒体・方法による募集・採用を行っている。配属・異動や園内での配置は、それぞれの意向と各園の状況を踏まえて決定し、適材適所の人員配置に努めている。キャリアパスは国の処遇改善制度との整合も考慮したものを作成しており、今後の職員への周知と各職員の課題・目標等に応じた個別の育成計画の作成・運用が課題となっている。</p> <p>法人内外での各種の研鑽機会を設け、職員の資質向上を促している</p> <p>法人の保育の柱とする「誉める保育」について、会議等において職員の立ち居振る舞いや言動など目指す姿を共有するほか、系列園を職員が行き来し、視察や実践と話し合いによって知見の共有や改善・工夫のきっかけづくりに活かしている。また法人アドバイザーや外部機関による表現活動・チーム力向上や階層別の育成など、多様な法人内の研修が整備されている。さらに多様な内容のオンラインでの研修のほか、経験・階層に応じて都のキャリアアップ研修を受講しており、これらの学びは報告書の供覧や会議での報告などによって組織内で共有している。</p> <p>組織内での共有やチーム活動を行い、労働環境面の配慮もなされている</p> <p>フロア会議や職員会議では、現場の諸課題が話し合われたり、全体での共有や注意喚起が必要な事項を伝えたりするなど、各職員の気づきの促しや、課題解決に向けた話し合いなどが行われている。また毎月、月の目標の設定と振り返りが行われるほか、保育・安全・環境整備などの委員会活動に各職員が参画し、マニュアルの見直しや掲示物の工夫、安全点検や清掃・整理など、チームでの活動が行われている。その他、勤怠・休暇管理と残業抑制・休憩時間確保、経営層の面談等による各職員の意向把握や各種福利厚生など、労働環境の最適化にも努めている。</p>	

カテゴリ7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリ1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1	
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
組織体制や検討・決定の手順などが整っていない部分があり、リーダーを通さずに決定したり、責任者への報告がなく物事を進めている流れが一部見られたため、物事を決める際の順序、報告の流れを守ることなど、組織体制の再構築を目指した。職員会議などで組織の中の順序等を伝え、職員間で共通の認識を持つとともに、必要な際は「リーダーは知っているのか」「共通認識の中での決定か」等の確認を行いながら取り組んできた。またフロアからリーダーにあげ、そこから検討・決定された内容が職員会議で周知される仕組みを整えた。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
みんなが気を付け、スムーズに情報伝達等がいく時もあれば、順序を誤ることもしばしばあったため、その都度、園長が声を掛け皆に注意を促し、一定の成果が得られたと園では考えている。今年度も組織の方向性や決めごとの際は、リーダーに相談、報告したうえで、主任や園長に話すように継続して取り組むこととし、習慣付けができており、職員への浸透という点では非常勤職員への周知が課題となってきたため、職員間の連携と決定事項の周知をさらに高めることを進めている。	

## 評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

## 前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

昨年度までは経験年数が長い職員がいて、何か実行する際に細かく指定されていることがあったが、新人職員にもそれと同じレベルで求めすぎていたことが見られており、経験の浅い職員には負担となっていた。新たな組織体制の確立とともに、新人や経験が浅い職員でも、「こうしなければならない」「こうでないといけない」という固定的な考え方でなく、柔軟に考えてゆくことで、みんなで考えて行動できる組織を目指した。

リーダー層での会議やフロア会議を実施し、限られた体制の中でどのようにすればできるのかを話し合いながら方法を決めていった。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

## 評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

リーダー層の話し合いが重ねられることで、職員が「あれができない」「これができない」ではなく、できるようにするための案を考えることが増えていった。また1階と2階のフロアの職員の数名を配置転換することで、互いの状況や子どもの理解を深めながら、職員同士で相手の気持ちに寄り添おうとする姿も見られた。

それらの経験からできることが増えたことで、職員の一人ひとりの責任感やスキルの向上につながっていると園では実感している。

今年度も職員が考え、行動できることを増やしてゆくため、引き続き重点的な取組としている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1~3, 6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>4/4</b>
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
評点(〇〇〇〇)		
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学希望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
サブカテゴリ1の講評		
<p>法人のホームページから系列園共通の特徴や園の情報が発信されている</p> <p>運営法人のホームページでは、系列園共通の保育理念「すべての子どもの最善の利益のために」のもと、大切にしている「誉める保育」「夢中になって遊べる環境」「異年齢保育」の3つの取組と解説を行っているほか、より詳細な内容は、法人の保育内容を説明する「コンセプトブック」をPDF等で閲覧できるようにしている。系列各園を紹介するページが設けられ、本園のページでは、所在地や連絡先、定員等の施設の基本的な情報とともに、1日の流れや年間の行事予定などの情報が掲載されている。</p> <p>見学者に配付するパンフレットが制作され、市の各種媒体から園の情報が発信されている</p> <p>見学者には、ホームページに掲載する情報を端的にまとめ、「よくある質問」や延長保育の時間と料金等の情報を加えたパンフレットを制作している。園が所在する市の公式サイトでは、市内にある私立保育所の所在地や連絡先、定員や保育年齢の情報が一覧化されている。また市が制作する冊子「保育園等入園のしおり」にも前述と同様な情報が掲載され、市の関連する窓口で配布されている。</p> <p>見学では丁寧な説明を行い、園の特徴や入園後の齟齬が生じないようにしている</p> <p>見学は、子どもが活動している様子が見られる時間帯で行い、電話で予約を受け付ける際に日程の調整を図っている。見学者に園のパンフレットを渡し、園内を案内しながら、系列園共通の保育の特徴としている誉める保育や異年齢保育等について説明している。また散歩は、安全に配慮して小人数のグループで行い、頻度が少ないことも伝え、入園後に保育内容に関する齟齬が生じないように説明を心がけながら、園の保育が伝わるような説明に努めている。</p>		



サブカテゴリー2	
2	サービスの開始・終了時の対応 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している ○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている ○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している ○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している ○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している ○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている ○非該当
サブカテゴリー2の講評	
<b>利用開始にあたっての説明を行い、各種同意を書面にて確認している</b> 入園が内定した世帯に対しては、利用開始にあたっての説明を入園前に行っている。コロナ感染症に配慮した少人数制の説明会を行い、「入園のしおり」や重要事項説明書に沿って、重要事項や登降園・保健・給食などに関する約束事などのほか、持ち物は、わかりやすいよう、実際に使用しているものを見せながら説明している。質疑応答を通じて、不明点や疑問点の解消を図り、重要事項の説明や個人情報の取り扱いなどに関する同意を、書面にて確認している。	
<b>共通認識のもとで入園後の支援を行えるよう、面談で親子の状況を確認している</b> 入園にあたっての説明会後には、個別の面談を行い、入園後の支援に向けて保育開始に必要な親子の状況を確認している。保護者から提出される各種書類をもとに、保護者の就労状況や保育に対する意向、子どもの健康や発達・生活状況を確認している。手術や虫歯の有無などの状況を確認し、配慮が必要な事項があれば、栄養士や看護師が同席して詳細状況を聴き取りしている。共通認識のもとで支援を行えるよう、面談で把握した事項は、会議等で共有している。	
<b>入園当初に親子の不安への配慮と利用終了後の関係の継続に努めている</b> 入園当初には、2週間を目安に、保護者の就労や子どもの状況に応じて設定した期間で行う「慣らし保育」では、保育時間を少しずつ延ばしていき、無理なく園生活に移行できるようにしており、期間中の子どもの様子に応じて日程の調整を図っている。家庭と同じ粉ミルクや哺乳瓶を使用することで、子どもが安心できるようにもしている。卒園等の利用終了時には、お別れ会を開催し、楽しかった思い出を胸に就学への期待を高められるようにしている。親子ともに卒園後の来園を呼びかけている。	

サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 <b>12/12</b>
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリー3の講評		
<p>各種の計画を作成しており、子どもの姿を反映しながら保育を進めている</p> <p>園では全体的な計画をもとに、大きな視点での年間指導計画が作成されている。また年間の計画に向けて月の指導計画、週の指導計画がそれぞれ作成されている。同フロアで異年齢の子どもと一緒に過ごし、フロアの職員が全体的に見守る形であるため、フロアごとに話し合いを行い、多角的に子どもの姿を捉えて計画に反映できるようにしている。計画の評価はフロアミーティングの振り返りをもとにリーダー職員が作成し、共有した評価を踏まえて次の計画に反映していく仕組みがあり、フロアノートも活用して共有しながら、保育が進められている。</p> <p>一人ひとりの子どもの必要な情報の把握を行うための様式や仕組みを整えている</p> <p>入園時に個人調査票や食事状況確認表、健康調査票などを用いて、一人ひとりの子どものこれまでの状況を把握し、それぞれの子どもに合わせた支援を開始できるようにしている。入園後は、連絡帳や保育日誌、児童票などに様子を記録することで、関わる職員が園児の情報の把握をできるようにしている。またそれらの書類の作成は、必要に応じてリーダーや主任が確認や指導をすることで、より子どもの姿に寄り添えるように努めている。保護者との個人面談を実施しており、面談記録のファイルは全職員が閲覧できるようにし、共有を図っている。</p> <p>それぞれの子どもの状況について、ノートやミーティングを活用して共有化に努めている</p> <p>毎月行われる職員会議やパート会議のほか、0・1歳児と、2～5歳児で分かれて行うフロア会議をそれぞれ毎週及び必要時に開催し、個別配慮や変更のあった子どもの情報などを共有している。児童票や週案の個別配慮事項、個人面談記録を常時閲覧して把握できるようにしているほか、急を要する申し送りはフロアノートや受け渡しノートを活用している。フロアノートは毎日確認し、必要なことを記載するルールで運用しており、それぞれの会議以外でも更新された子どもの最新の情報を共有できるよう努め、保育に活かすようにしている。</p>		

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p><b>子どものプライバシーに関する保護や羞恥心への配慮に努めている</b></p> <p>入園時に個人情報及び肖像権の利用に関する同意を得ており、それ以外の場合は保護者にその都度確認して対応することとしている。各フロアでの生活が行われており、ロッカーの裏などを活用して目隠しになる場所を設けたり、身体測定を男女別々に分けるほか、着替えの際に裸にならないような援助を心がけている。また園庭での水遊びの際にはタープや目隠しを使用し、外部から見えないようにしている。羞恥心の芽生える時期であることを踏まえ、子どもの様子に合わせて看護師がプライベートゾーンについての話をする機会も設けている。</p> <p><b>子どもの人権に配慮した保育に向け、手引書を整備し、振り返り等が行われている</b></p> <p>子どもの人権に配慮した保育として、食事や排せつ等の生活の各場面における、適切や不適切な職員の言動のほか、好ましい伝え方や好ましくない伝え方を系列園共通のマニュアル「職員の心得」に示している。他園の職員による不適切な保育の報道事例を受け、同マニュアルの確認が行われ、折々の会議では、丁寧な言葉選びや命令口調の禁止などを、園長から職員に注意がなされている。子どもとの不適切な関わりを複数項目掲げた「子どもの関わりシート」による、年3回の振り返りを職員が行うなどして、子どもの人権に配慮した保育の徹底に努めている。</p> <p><b>手引書を整備し、内外の研鑽等を通じて虐待防止に関する理解を深めている</b></p> <p>虐待の定義や園の役割、保育者の留意事項などに加え、虐待の発見から通告までの流れを示したフローを示した、系列園共通の「虐待防止マニュアル」が整備され、日々の着替えや身体測定等の視診にて、虐待の兆候の早期発見に努めている。参画する関連する市の協議会で、提供された資料や得られた情報を組織内で共有し、職員の意識継続を図っている。関連する都のキャリアアップ研修に職員が受講し、報告書の供覧等を通じて、知見を組織内で共有し、虐待防止や育児困難家庭の支援に関する理解が深まるようにしている。</p>		

サブカテゴリ6		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5 / 5
6 事業所業務の標準化			
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	
サブカテゴリ6の講評			
<p><b>法人や園策定の手引書類が整備されている</b></p> <p>職員の心得や虐待防止、保育、感染症対応、事故・危機管理等の系列園共通の各種手引書が整備され、事務室に常備し、職員の閲覧に供している。事務室やクラス等の要所には、食物アレルギーや痙攣、熱中症やSIDS等の緊急時の対応手順またはフローが掲示され、随時参照できるようにしている。また、保育中の遊びの場面での子どもに守ってほしいルール、保育者の関わりや声かけを統一した「保育・安全マニュアル」などの園で必要と思われる手引書を独自に整備している。</p> <p><b>事例共有や内外の研鑽、振り返り等により、定められた手順の徹底を促している</b></p> <p>系列園の指導監査結果や事故等のリスクに関わる報道事例などをもとに、毎月の会議にて関わる手引書の確認や注意喚起が行われている。年1回の消防署による応急救護の講習では、AEDや心肺蘇生法の訓練を行うほか、会議内では看護師による保健衛生に関わる手順の指導が行われている。また各職員は、「振り返りシート」や「子どもの関わりシート」を活用した定期的な振り返りを行うとともに、園長との面談を通じた指導によって、「誉める保育」や適切な保育の実践での徹底を促している。</p> <p><b>保護者の声や職員の話し合いをもとに、園運営等を見直す仕組みを整えている</b></p> <p>保護者の声や職員の意見等を確認して、園運営や保育・行事等の見直しに活かす仕組みを整えている。保護者の声は、懇親会等の保護者との交流の機会のほか、通信アプリを活用して行う行事後のアンケートなどから保護者全体の意向の把握を行っている。行事後のアンケートでは、寄せられた感想から課題を抽出し、次回の行事に活かすこととしている。職員会議では、保護者への情報の発信として写真配信の回数を決めたほか、見学を通じて気づいた系列園の取組を採り入れるなど、職員の話し合いや気づきを業務等の見直しに活かしている。</p>			

## Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35/35
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇〇)	
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが主体的に興味・関心を持てるように、環境設定のさまざまな工夫をしている</p> <p>各フロアの実環境設定においては、子どもが見やすく手の届く棚に、それぞれの成長や発達に合わせた玩具や教材を用意し、子どもたちがいつでも自由に遊べることで、常に主体的に活動できるように配慮している。また、職員が子どもの成長の様子に合わせてこまめに入れ替え、幅広い興味や関心から、成長を促せるように工夫している。異年齢の関わりが広がる中でも、年齢別保育で作成した作品や活動の様子の掲示をするなど、年齢を超えた興味・関心がさらに広がるような環境設定やその働きかけの工夫も行っている。</p> <p>日々の保育にあたり、子どもの気持ちを尊重した関わりに努めている</p> <p>一人ひとりの子どもの気持ちを大切に關わるよう心がけて日々の保育にあたっている。子ども同士のトラブルの対応などについては、随時職員にアドバイスやフォローをするとともに、フロアごとの会議やノートを通じて子どもの様子を共有し、対応についての共通認識を持てるようにしている。一人ひとりの子どもについて、職員や場面によって見え方が異なることも踏まえ、会議で意見交換を深め、さまざまな角度から子どもを捉えるようにしており、園全体で子どもの気持ちを尊重するために継続して取り組んでいる。</p> <p>小学校との連携や地域の情報などを活用し、スムーズな就学への移行につなげている</p> <p>就学先の小学校との連携では、保育所児童保育要録を作成するほか、必要に応じて個別の伝達を行っている。また、保護者と相談の上で就学支援シートを活用した際には、小学校から連絡が入り、個別の申し送りを行える仕組みがあることや、校区に在住する職員が持つ小学校の情報などを保護者に共有することで、保護者の安心感につなげている。また、幼保小連絡会にて得た、小学校スタートカリキュラムの内容や、就学までに必要なこと目の目安などの情報を、保護者や職員で共有することにより、スムーズな就学準備となるよう努めている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には家庭での子どもの様子を確認して共有し、日々の保育での配慮につなげている</p> <p>登園時には保護者に家庭での子どもの様子を確認し、「受入れ受け渡し連絡票」やフロアノート、コミュニケーションノート等を用いて職員内で共有しており、それぞれの子どもその日の様子に合わせた配慮ができるようにする仕組みを設けている。また園での体調不良やケガなどは「外科・内科ノート」に記録し、担当職員は毎日確認して受け入れを行うことで、細かい体調把握に努めながら子どもに関わっている。睡眠等についても園と家庭での様子を伝え合い、保護者と相談しながら午睡時間への配慮をし、子どもの生活リズムの安定につなげている。</p> <p>生活習慣の習得や発達の理解を深められるよう、懇親会等で資料を用いて働きかけている</p> <p>冬の懇親会では、1歳児の保護者に向けて、次年度の1日の流れやトイレトレーニングに関する資料などを配付し、発達や成長の見通しを保護者が持てるように支援している。トイレトレーニングの資料は先輩ママへのQ&amp;A方式で作成し、タイミングや失敗談、工夫したこと、かかった期間、おすすめ絵本などの紹介をしており、子育てが初めての保護者にもわかりやすいよう工夫を凝らし、共通認識を深められるようにしている。また、個人面談では子どもの様子を踏まえた必要な援助などを保護者と共有し、それぞれの子どもに合った援助を進めている。</p> <p>子どもの園での様子について、連絡帳ノートや配信、口頭での伝達等により共有している</p> <p>年齢ごとの頻度は異なるが、週のうち連絡ノートを用いる日と連絡帳アプリを用いる日を設け、アプリでは写真も用いて配信することで、園での子どもの様子を保護者と共有している。連絡帳には保護者からの相談への回答や喫食状況、園医の健診報告、園から伝えたいことなどを記載している。引き渡しの際に時間によっては混み合い、一人ひとりとゆっくりと時間が取れないことがあるが、玄関のモニターで写真を公開したり、廊下・階段で子どもの作品や保育の様子のドキュメンテーションを掲示するなどして、園での様子を伝えられるよう努めている。</p>		

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>コーナー設置などの環境設定を通して、子どもが主体的に活動できるように配慮している</p> <p>保育室にはどのフロアもコーナーが設置され、その時々の子どもの発達や興味に合わせた玩具を揃え、必要に応じて入れ替えを行っている。着脱の導入前にチャックを開け閉める玩具など生活面の発達が獲得できるもののほか、友だちと関わり合って遊ぶことを楽しめる玩具や、難易度を上げて進めていくパズルなどを提供している。1日の大半を自由に過ごす中で、子どもたちは遊びたい時に遊びたいものを自ら選び、コーナーに分けられた落ち着いた空間の中で遊び込むなど、日常生活の中で子どもの自主性・自発性を尊重した保育を実践している。</p> <p>さまざまな表現活動の機会を用意し、子どもの遊びの豊かな広がりにつなげている</p> <p>園では外部講師による造形やオペレッタの活動を採り入れるほか、今年度は法人のテーマ「奏でる」に沿って音に関する保育を展開しており、子どもがさまざまな表現を楽しめる環境づくりを行っている。「フェスティバル」では、子どもが自分たちで配役を決めたオペレッタを発表したり、自ら作った衣装をファッションショーで披露したりと、自信につながる機会となっている。造形活動ではオペレッタを題材とした制作に取り組み、完成した制作物を保育室や廊下に飾るなど、多様な表現を経験することで、より子どもの楽しみが増すような取組を行っている。</p> <p>年齢別の集団活動の時間において、自らの気持ちを調整する経験ができるようにしている</p> <p>行事の機会や、子どもが自ら発表したいことがある際には集団活動の機会を用意しており、その中で自分の気持ちや意見を伝えられるようにしている。行事の準備では、子どもの提案に沿って職員が一緒に入って話し合いを進めながら、他者の気持ちや意見を受け入れたり、自分たちで役割分担を決めて行動することを子どもが経験するなど、気持ちの調整をする機会ともなっている。また状況によって、ハサミの使い方については、子どもたちとルール必要性について考え、話し合う時間を設けるなど、社会性を身につけるための経験を重ねている。</p>		



4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>発達に合わせて子ども主体で作り上げる行事を実施し、日常保育に変化をもたらしている</p> <p>5歳児の「お楽しみ会」は、子どもがやりたいことを提案する形から入り、可能な部分を実現しながら進めるようにしている。今年度はパーティーをしたいという提案で始まり、子どもたちがやりたいという部屋の装飾について、保育者が手伝いながらも、子どもが実際に作り上げている。他にもキーホルダー作り、おやつや食事作りなど、すべて子どもの提案から実現しており、主体的に取り組むことで子どもが興味を深め、食材の買い出しに行くといったプロセスも盛り込まれるなど、子どもたちが自ら進んで行事に取り組めるよう工夫している。</p> <p>組体操やレシピ作りなど、友だちと協力し、やり遂げた喜びを感じられる機会がある</p> <p>「もりんびっく」(運動会)の組体操では、友だちと協力して一つの形を作ることで、協調性や一緒に成功させようと取り組む力を育む機会となっている。また2人1組となって職員と行う相撲でも、協力して考えながら成し遂げるという経験につながっている。「お楽しみ会」のおやつは、聞き取りとメモをとる担当を自分たちで決め、給食の職員に質問したうえで、みんなでレシピを書いて作っている。これらの中で子どもたちが自分の意見を言うことや人の意見を聞くことなど、職員が適宜調整しながら、子ども同士の喜びが味わえるように援助している。</p> <p>園が考える行事のあり方を保護者に伝え、共通理解を深められるようにしている</p> <p>入園時に配付する「入園のしおり」や園便りには、行事の日程や概要のほか、行事に対する園の考え方を明記し、事前に伝えることで保護者の理解を深められるようにしている。運動会は子どもに身体を動かす楽しさを知ってもらい、保護者に子どもの成長を見てもらう機会とし、「フェスティバル」は子どもたちができるようになったこと、保護者に見てもらいたいことを発表する場としていることなどをしおりに示しており、各便りや写真の掲示など、過程を含めて子どもの姿や取組などを紹介することを通じ、行事への保護者の理解が深まるよう工夫している。</p>		

7 評価項目7		子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している			○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている			○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている			○非該当
評価項目7の講評				
<p><b>職員の注意喚起や保健指導によって、ケガ防止や病気予防を意識できるようにしている</b></p> <p>子どもが安全を意識し、ケガを予防できるよう、日々の活動時に職員からの注意等が行われている。制作でハサミを使う際は、職員から子どもに問いかけて、安全な使い方がわかるようにし、散歩前には交通マナーを職員が子どもに伝えている。また病気の予防に向けては、日々の生活の節目において、職員から声かけや、職員が援助するなどの年齢に応じた方法で、子どもたちの手洗いを促している。看護師による手洗いや歯磨き等の保健指導が行われるなど、子どもの衛生面に対する意識を高めて、病気の予防につなげられるよう取り組んでいる。</p> <p><b>職員や看護師、嘱託医が連携して子どもの健康の維持管理に取り組んでいる</b></p> <p>毎月の身体測定や、嘱託医による各種検診によって、子どもの発育や健康状態を定期的に確認しており、発育等で気になる点等があれば、嘱託医と相談できる体制にある。検診の結果は保護者とも共有し、所見があれば園から保護者に病院受診または治療を依頼している。登園時には職員による健康観察とともに、保護者への口頭確認によって日々の子どもの健康状態を確認し、配慮事項があれば、その日の援助に活かしている。午前中には看護師が各クラスを巡回して、子どもの健康面等の状況を確認するほか、急な体調変化やケガの対応に努めている。</p> <p><b>保護者と連携して子どもの健康を支援できるよう、情報の提供等に努めている</b></p> <p>子ども体調や感染症に罹患した際の登園などの保健面に関する約束事は、「入園のしおり」への掲載と入園時の説明によって、保護者との共通認識の形成に努めている。SIDSは入園時に説明するほか、強化月間時の行政のポスター掲示によって啓発を行っている。毎月の保健便りでは、季節に応じた健康維持の留意事項や子どもの保健指導の様子を伝えている。国や都、自治体からのコロナ感染症等の保健に関わる書類やポスターのほか、園内で発生した感染症の状況の園内掲示によって、保護者の注意を喚起してまん延防止に努めている。</p>				

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>日々の会話や面談等で保護者との対話に努め、個別の事情に配慮した支援を心がけている</p> <p>日々の送迎時では、お迎えの重なり等で困難な場合もあるが、職員は保護者とのコミュニケーションを積極的に図ることを心がけている。定期的な面談のほか、必要に応じて面談の場を随時設け、日々の対話を含めて、園や家庭での子どもの様子を伝え合うとともに、把握した子育ての相談に対する助言や、家庭等の個別の事情に配慮した支援に努めている。保護者の就労形態の変化に伴った時間での登園を受け入れたり、急な延長保育や土曜保育の利用に柔軟に対応するなどの就労面への配慮も心がけている。</p> <p>保護者同士の交流や、養育力向上を支援する機会を設けている</p> <p>例年、設けている保護者参加型の行事については、今年度は「もりんびっく」のほか、4・5歳クラスの観光農園での収穫体験など、コロナ禍の状況に応じた方法での開催または見合わせをしながら行っている。クラス別の懇親会についても、コロナ禍の状況に応じて、クラスによって余儀なく中止しており、開催したクラスでは、保護者同士が交流できるよう配慮している。今年度再開した公開保育では、職員と子どもの関わりを見せようとともに、職員から活動等の説明がなされるなど、保護者の子育ての一助となるようにしている。</p> <p>園の取組への保護者の理解が深まるよう取り組んでいる</p> <p>コロナ禍次第での開催となっているクラス別の懇親会では、クラスの年間の方針等を説明しており、出席がかなわなかった保護者には、動画を配信している。園便りでは、名前呼びが点呼ではない等の園の考えや、食事・おやつの際にパーティションを設置する園の取組を説明している。各フロアの便りでは、散歩や制作、遊び等の保育活動の様子を、写真を交えながら伝え、今年度の11月から再開した公開保育では、職員から保護者に、子どもやクラスの様子を説明するなど、さまざまな方法で園の保育の考えを伝え、保護者の理解が深まるようにしている。</p>		

9 評価項目9		地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している			○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している			○非該当
評価項目9の講評				
<p>近隣の資源を活用した体験や交流の機会を設けている</p> <p>散歩では、園周辺にある公園に行って大型遊具で遊んだり、神社に立ち寄ってお参りをしたりしている。近くの観光農園にも立ち寄って、挨拶を交わすほか、サツマイモの植え付けから収穫をする体験等も行われている。5歳児は近隣のスーパーにスイートポテトの材料を買いに行き、近隣の花屋さんでは植える花を、店員と相談のうえ、買っている。誕生日は、近くのケーキ屋でほしいケーキを伝え、誕生日に食べるなど、地域資源を利用した交流や体験の機会が設けられている。法人が所有するバスを利用して隣接する市等に出かけて遊ぶ活動も行われている。</p>				

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	それぞれの表現活動における工夫により、園での豊かな生活や遊びが展開されている	
内容①	「奏でる」をテーマとして年間を通じて音に関する表現活動に取り組んでいる。乳児フロアの玩具棚に設置したイラスト入りの歌詞カードを用い、まだ言葉の出ない子どもでもカードを示すことで大人に歌ってもらって楽しんだり、戸外活動で見つけた石や木ノ実で楽器を作っているほか、年齢にあわせた楽器も常設し、いつでも奏でて楽しめるようにしている。また、ダンスやオペレッタ、造形といった表現活動の時間以外でも、日常の生活の中で身近に楽しめるように、保育室の環境設定に常に工夫を凝らして採り入れることで豊かな園生活につなげている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者の安心につなげられるよう、子どもの育ちの可視化と共有に努めている	
内容②	降園時の職員からの口頭の伝達や、乳児では連絡帳のほか、乳児・幼児ともに2日間は写真を配信し、日常の個々の子どもの様子を保護者に伝えている。玄関に設置のモニターでは、月1回更新しながら、写真のスライドショーにより、子どもたちの様子を発信している。2歳以上児の遠足では、折々の子どもの様子を連絡アプリで配信し、写真を交えて乳児クラスの「ジャムづくり」の様子を書面の掲示によって伝えている。描画等の子どもの制作物を、その時の様子のコメントを添えたカードとともに掲示し、子どもの様子や育ちを保護者と共有している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	各会議や委員会活動を通じ、組織内の情報・認識の共有とチーム力の向上を図っている	
内容③	リーダー会議やフロア会議を定期的に行い、保育の振り返りや改善点等も話し合うほか、フロアの担当や非常勤職員、主任が集うパート会議を月2回として周知を図ったり、外部の専門家を交えたチームビルディング研修を実施するなど、全体での認識・情報の共有とチームワークの向上に努めている。また職員が協力して行う委員会活動では、保育・安全マニュアルの見直し、園庭や各所の安全点検、清掃と整理整頓、衛生管理、園内の環境設定と掲示等の広報物の工夫などに取り組んでおり、毎月の会議において各委員の報告と組織内での共有を図っている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの自主性・自発性を基本に保育を進めており、子どもが主体となって行事を計画し、実現可能な形で作り上げている
	内容	園では遊びや食事など、日々の生活の場面で子どもの自主性・自発性を大切にに関わりながら、保育を進めている中で、年齢に合わせた集団活動を行い、行事などでは子どもの意欲を尊重しながら取り組んでいる。お泊まり会やお楽しみ会では、大きな流れや内容を保育者から知らせたうえで、子どもたちが自ら遊びの内容や食事メニュー、「温泉ごっこ」などのやりたいことを提案し、保育者が手伝いながらも主体的に決めたり、作り上げてゆく経験を重ねている。これらの行事へのプロセスが、子どもたちの満足感、自信や自己肯定感などの育みにつながっている。
2	タイトル	子どもの発達や状況などを職員間で共有し合いながら、子どもたちが日々安心して過ごし、健やかに成長できるような大人の支援に努めている
	内容	フロア別での担当による保育を行っており、子どもへの適切な支援や配慮ができるよう、フロア内での情報共有をさまざまな方法で行っている。保育に必要な記録や情報は職員が必要な時に確認するほか、フロアノートや「コミュニケーションノート」、「受入れ受け渡し連絡票」など複数の伝達の仕組みを整え、各職員が折々に確認し、口頭でも伝え合っている。また職員会議やフロア会議のほか、必要時にこまめな会議を行うことで、非常勤を含めて職員間で子どもに関する情報を共有し、同じ思いや視点での見守りや支援ができるように努めている。
3	タイトル	保護者との信頼関係の維持向上に向けた取組がさまざまに行われている
	内容	コロナ禍にあっても、観光農園での収穫体験や「もりんびっく(運動会)」等の保護者が参加する行事の開催に努め、行事後のアンケートにより保護者の意向の把握と活用を行っている。面談前にもアンケートを行い、保護者の知りたいことを確認し、面談時に説明できるようにするほか、日々の会話を含む保護者からの相談への対応に努めている。各種便りや園内掲示、写真の配信等を通じて園の取組や子どもの様子を伝え、今年度途中から再開した公開保育では、職員から活動等の説明がなされるなど、保護者との信頼関係の維持向上にさまざまに取り組んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域との交流や地域未就園世帯の支援などの地域と関わり深める中で、子どもたちが職員以外の人々と交流が行えるようにしたいと考えている
	内容	アルバイト勤務していた学生を、保育の実習生として受け入れ、大分県の特産であるカボスを使ったゼリーづくりでは、大分県の出張機関の職員が来園するなど、子どもたちは職員以外の人々と関わる機会が設けられている。地域に開かれた園づくりを課題としており、地域との関わりをさらに深め、近隣の系列園や他園、高齢者施設等の交流を図りたいと考えている。また見学時の育児相談に留まっている地域貢献では、地域の未就園世帯向けの支援の充実を図りたいと考えており、今後の地域に開かれた園づくりに向けた園の工夫を期待したい。
2	タイトル	職員のそれぞれの成長の道すじを示し、それを共有しながら、個別の目標・育成支援の仕組みが整備されることに期待したい
	内容	法人のキャリアプランとして、一般からリーダー・主任や副園長・園長・上級職などへの成長のイメージ図を準備するとともに、それぞれの役職・職務に応じて求められる業務内容が列挙されており、今後はこれをもとに職員への周知と育成支援のための活用を行う予定となっている。経験等に応じて求める能力等をより具体的に示すことや、キャリアの各段階で望まれる研鑽などを示す人材育成計画の整備などにはさらなる検討の余地も見られるほか、これとともに個別の目標設定と育成支援などの仕組みの整備にも期待したい。
3	タイトル	計画の推進と実行後の振り返りのサイクルをさらに高めるため、計画策定や指標の明示などの工夫に期待したい
	内容	法人の中長期計画を踏まえ、事業計画へと展開しており、同計画には重点事業として、法人共通の保育内容の充実・質の向上、人材確保・育成、地域との連携や保護者支援、施設設備の維持管理と健全経営のほか、園固有の課題や委員会活動に関する内容などを定め、その取組を実行している。ただ、計画において一部、目標の水準などが示されているが、重点項目の内容の具体化、目標水準やいつまでといった期限の設定など、計画策定や目標の達成度の振り返りがさらに深まるための工夫がなされることに期待したい。